

「舞姫」と補助資料

—読めない生徒たちに対して—

辻 井 輝 行

1. はじめに

現在に至るまで、生徒の文章読解に関する困難さを感じる事が、しばしばあった。その中でも、現代文の教科書は「読まない」という現状に出合うのは、私ひとりではないであろう。「読まない」理由はいろいろ考えられるが、まず第一に、教科書に取り入れられている作品ということで、さまざまな先入観が加わり、自ら進んで読もうとはしないことである。先入観として、まじめで堅いもの、押し付けられたもの、おもしろ味のないもの、などがある。また第二として、現代の活字離れがある。映像文化の社会への移行に伴い、読書の機会も減り、関心も弱くなってきていることも事実である。

このような現状のもと、一方では、国語の、とりわけ現代文の授業がわからない、おもしろくない、ということが生徒の口から出ているのも事実である。そこで、「舞姫」教材を通して行ってきた工夫について、考察を加えてみた。

2. 「舞姫」教材の位置

時代の推移、変化に伴って、国語科の教科書の改訂では、次々と新しい作品が組み入れられてきている。しかし現代文において、「羅生門」「山月記」「こころ」と共に、「舞姫」は、従来より文学教材の中心的位置を保ってきている。文体、構成、内容など、いずれも完成度が高く、読みごたえのあるもので、高校生の年代に読むべきものとして価値のある作品であることは否めない。こういった点から、^{注1}20年以上これらの教材が圧倒的に教師の支持も受けているのである。しかし、読解力の弱い生徒、読書に馴染んでいない生徒たちにとっては、文体の古さ、文量の多さなどの点で、学習が困難な教材でもある。

以上のようなことについては、^{注2}「『舞姫』は主題が青年期の自我の覚醒や恋愛・友情などにかかわり、学習者に問題意識を喚起する点で、かつ近代文学の成立期の諸問題を考えさせるうえで、他に得がたい教材だと認めながらも、この小説が文語文体で書かれており、語句の抵抗があるので、小説教材として適当でないという意見の人もある。たしかに文語体小説はふつうの小説よりも読解に骨が折れ、多くの学習者は初めて文語体小説に接することになる。」と、現場でこの教材を扱う者たちの思いが、端的に指摘されている。そ

れと同時に、^{注2}「しかし現に源氏物語や芭蕉などの難解な古典を読まされ、漢文も課せられている高校三年生の学力からみると、明治の文語文を読むのは」それほどの負担はないとも言っている。また内容面では、^{注3}「主題は純愛と栄達との岐路に悩む青春への深刻な課題である。世俗の栄達の前に、真実の生き方を貫きえなかった苦悩、怨念を中心に、青年期の自我の問題、恋愛の問題、友情の問題などが絡み合っており、高校生の生活感情にはきわめて身近なものとして受けとめられるであろう。」とあるように、高校生としての精神的発育過程において、現実社会との狭間で苦悩する人間描写は、読者に考えさせるうえで貴重なものである。

3. 補助資料の使用に至る経緯

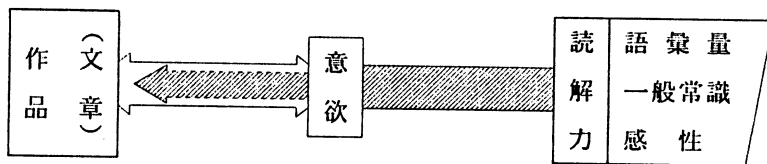
。 生徒の実情

東播磨・加印地区は、学力成績によって高等学校の序列がはっきりとしているところである。その学校間格差がそのまま、国語の学力にも現れている。現在まで私の勤務してきた学校は、そのいずれもが世間で言う進学校ではなかった。従って国語の学力もそれほど高いとは言えず、「舞姫」の学習の中でも、何度となく行き詰まり、その度ごとに試行錯誤を繰り返してきた。

生徒たちは、事前に教科書を読んでこないのである。宿題として指示しても読んでこない。教室の中で、授業の進む中で、文字を追っていくのである。そこで、授業内に読む時間を与えることになる。ところが、読めないのである。真剣に読まない生徒もいる。しかし、これは論外である。真剣に読もうとしても読めないのである。読み続ける気力が弱いのである。また読もうと頑張るのだが、目で辿るだけで、理解のできない生徒たちである。文語文であり、単語の見分けができない。教師側の助けで読み（単語の見分け）ができて、語彙力や一般常識が乏しく、文意が正確につかめない、というのがその理由である。

。 読解力の弱さについて

生徒の学習の実情に直面する時、読解力とは何かということを考えさせられる。読解力というのは、文を読んで、その意味を理解する力であるが、読解力の要素及び文章との関係を考えてみると、次のような図式が成り立つと思われる。作品（文章）には、^{注4}読書意欲



によって接していく。そこには読解力の支えが伴うが、意欲が増幅器のような働きをし、読解力が充分発揮されるかどうかは、意欲の強さによる。また読解力の要素として、語彙

力、一般常識、感性が中心的なものと考えられ、文学性を帯びるに従い感性、一般常識の比重が大きくなる。

事実、読解力の弱い生徒たちというのは、感性が乏しかったり、一般常識に疎かったりする場合が多い。そのため、文章の内容を理解させるためには、文章中で用いられている語句の辞書的意味の説明とともに、雑学的な一般常識の話も必要となってくる。私は従前より、「舞姫」の学習には、文語体小説で文量が多いという理由で、各段落ごとのあらすじをまとめたプリントを配布することにしていた。しかし、私の話術だけに頼る興味の喚起にも限界があり、各段落の内容や全体との関係を把握させることには、とうてい及ばなかった。

。 読解力の弱さに対して

授業を効果的に進めていくためには、生徒の実情を正しくとらえ、彼等に適した指導方法、内容を考えないといけない。文章読解に困難さを伴う生徒の段階は、大きく三つに分かれる。そして、それぞれの段階での主な原因、教師側からの必要な補助、について簡単に示す。

①読まない生徒	意欲・関心がない	興味の喚起
②読めない生徒	最後まで、気力が続かない	間隔をおいての刺激 段落に分割し、精神的 軽減化
③読んでもわからない生徒	目で辿るだけ一般常識の不足	全般の概略 話題の提供

次に、実際の授業においてであるが、常に二つの点を基本にして行う。その第一点は、「全体の概略、あらすじの提示」で、第二点は、「毎授業前半での部分的あらすじの提示」である。第一点は、単に紹介として第一時にのみ行うのではなく、各段落の位置を眺めるためにも、必要に応じて何度でも行う。第二点は、その日の授業がひとつのまとまり、ひとつの作品として感じさせるためにも、重要なことと考える。

しかし、これだけでは、生徒の関心を集め続けることができず、また、目で辿るだけの上すべりの理解になることが多かった。そこで、雑学的あるいは常識的な補助資料を利用するようになった。現代文の授業は、「現代文を教えるのではなく、現代文で教える」ところが大きく、幅広い知識が生徒たちの中に求められる。そこで、次のような条件で資料を集めることにした。

- a. 身近に感じられるもの
- b. 他の教科にもつながっているもの
- c. 手軽に授業に持ち込めるもの

このようにして、集め始めた補助資料は、必ずしも十分なもののばかりではない。以下、

最近用いている^{注5}補助資料を示す。

- A. 「舞姫」抄 テープ
- B. サイゴンの風景写真
- C. 地中海沿岸の風景写真
- D. 藩校・東京大学の写真
- E. ヨーロッパの古い都市、古い建物などの写真や小冊子
- F. ブランデンブルク門の写真、絵葉書
- G. 合歓の木
- H. 古いベルリン市街の地図と、現在のもの
- I. ユダヤ老人の写真（ユダヤ人独特の服装のもの）
- J. ヨーロッパの裏通りの街並の写真
- K. ドイツの貨幣
- L. フロックコートの図
- M. レニングラードの写真と絵葉書
- N. ヨーロッパ宮殿の内部写真
- O. 当時の国や都市の位置関係を示す地図

4. 考察

「舞姫」の記録を残し始めたのは、昭和53年からである。^{注6}当初は簡単なアンケートであった。その後、機会あるたびに、アンケート内容を改善していき、^{注7}昭和58年以降は現在まで同じ内容、形式のアンケートを行ってきている。ただし、補助資料は、良いものが手に入れば適宜差し替えることにしてきた。

まず、^{注8}「森鷗外に関するアンケート結果」から考察を加えていく。

- a. 森鷗外の名前は知っているが、作品はほとんど読んでいない。
- b. 夏目漱石の名前も知っている。森鷗外の作品よりは、多く読んでいるが、それでも多いとは言えない。
- c. 「舞姫」の名前は知っているが、ほとんど読んでいない。
- d. 教科書で学習した作品を、あまり覚えていない。

作者名、作品名は覚えているが、実際には読んでいない。また、教科書で学習した作品でも、覚えていない。読む機会がない、興味がない、教科書は特に、印象に残りにくい、というのが、現実であろう。

次に^{注9}「「舞姫」学習後のアンケート結果」の中の、どの段落に興味を持ったか、についてである。

H高校では、「エリスとの出会い」「自我の目覚め」「エリスとの交際」の順に続いて

いる。S高校では、「エリスとの出会い」「エリスの妊娠」「ペテルブルクの宮廷」の順に、T高校では、「ベルリンの光景」「エリスの妊娠」「エリスとの出会い」の順に続いている。

この作品の大きな「山」となるのが、「自我の目覚め」「エリスとの出会い」「雪のベルリンのさまよい」などの場面である。3校とも、「エリスとの出会い」の場면을印象に残った場面として挙げているが、S高校とT高校では「エリスの妊娠」を挙げているのも特徴のひとつである。また、時間的な都合もあり、今年度の資料はT高校のものだけであるが、東欧の民主化の時期と重なったせいであろうか、T高校では、「ベルリンの光景」が最も印象に残る場面と感じている。

次に、補助資料の中で、どれが最も興味を持てたか、という項目である。

H高校では、「ヨーロッパの古い都市、古い建物などの写真や小冊子」「ブランデンブルク門の写真、絵葉書」「地中海沿岸の風景写真」の順に続いている。S高校では「ドイツの貨幣」「地中海沿岸の風景写真」「フロックコートの図」の順に、T高校では、「ドイツの貨幣」「地中海沿岸の風景写真」「ブランデンブルク門の写真、絵葉書」の順に続いている。

H高校では、以下「ユダヤ老人の写真」「レニングラードの写真と絵葉書」と続き、全体として外国文化への興味、関心が強いように感じられる。S高校とT高校では、「ドイツの貨幣」に強い興味を持っていることがわかる。また、最も印象に残った場面と同様、T高校では「ブランデンブルク門の写真と絵葉書」にも興味を持っている。

5. 反省と今後の課題

補助資料を使用しながら、「舞姫」の授業を数年間行ってきて、いろいろと反省すべき点、改善すべき点がある。まず、補助資料そのものが十分な内容ではないことである。

- a. 視覚教材に偏っている。
- b. 生徒の興味を惹くだけのもの。
- c. 小さすぎて、全体に一齐に見せられないもの。
- d. 数が少なく、全員に一巡させるのに時間がかかる。

また、学習すべき内容に深く入るための補助資料でないことが、最も苦しいところである。この補助資料の使用目的が、生徒たちの興味、関心を喚起することであったため、仕方のないことではあるが、結果的にS、T両校の生徒が「ドイツの貨幣」に最も興味を持ったという現実、今後の補助資料の利用に大きな問題を与えてくれているように思う。

次に、補助資料の利用方法である。どのように活用すれば、内容とうまく関わりを持たせられるかということである。資料そのものには興味を持つが、いざ作品に入ろうとすると関心が薄らいでいく。興味、関心を持たせることには、補助資料の効果が認められたが、興味、関心が学習意欲として、読解力を増幅させていくところに、これからの補助資料の

利用方法の課題がある。

前述の如く、当地区は学校の序列がはっきりとし、年度によっても異なるが、普通高校 8 校中 2、3 校で、「舞姫」の学習がなされているだけである。その理由は、生徒にとって負担になるほど難解な作品である、ということである。内容が高度になると、内容についての解釈、鑑賞より、文中に用いられている語彙の意味説明、基礎知識の解説に終始するのが現状である。事実^{注10}S、T両校の生徒にとって「舞姫」は相当にめんどろな作品である。しかし、自我の目覚め、恋愛と友情など高校生にとって身近なテーマであり、美しさを感じる心、優しさに喜ぶ心、真剣に悩める心、などに少しでも触れさせたい。その意味では貴重な作品である。

学習したかどうかとも忘れ去ってしまうのは悲しいことである。生徒たちがそれぞれの立場で、彼等なりの感動を得られれば良いと思っている。特に平成元年の授業では、東欧民主化のニュースから、ベルリンやブランデンブルク門に関心を持っていた。このことと「舞姫」とを結びつけることで、ベルリンが森鷗外（太田豊太郎）と生徒たちの同一次元の世界となったようだ。このような生徒の関心を正しくとらえ、その時どきの話題と結びつける資料も大切である。同時に現在使用している資料が、常に新鮮なものであるように、より良いものを探し続ける必要があるだろう。

最後に、長年にわたり、大道正、神谷重章両兄の協力によって、この研究のまとめができたことを感謝してここに記す。

注1 「国語科通信 第73号」（平成元年10月 角川書店）2頁

注2 「現代国語3 学習指導の研究」（昭和50年3月 筑摩書房）322頁

注3 「現代国語3 学習指導の研究」（昭和50年3月 筑摩書房）312頁

注4 読書意欲の元にあるものは興味、感心であると考え。

注5 資料3 参照

注6 資料1 参照

注7 資料2、3 参照

注8 資料4 参照

注9 資料5 参照

注10 S高校においては昭和59年以前は、10年以上行われていなかった。また昭和62年以降も、行われていない。T高校においては、昭和63年以前は、10年以上行われていなかった。

資料 1

「舞姫」に関するアンケート

Q 1. 今までに森鷗外作品を読んだことがありますか。

Q 2. 今までに「舞姫」を読んだことがありますか。

Q 3. 授業で「舞姫」を勉強してどの部分がおもしろかったですか。

Q 4. 授業の感想を書きなさい。

「舞姫」に関するアンケート（追加）

「舞姫」を勉強した感想は、次のようなものが多くあった。なぜ、このように感じたのか、思うこと考えたことを、詳しく書いて下さい。

・ おもしろくない。

・ むずかしい。

・ わからない。

・ 興味がない。

・ たいくつ。

資料 2

森鷗外に関するアンケート

Q 1. あなたは、森鷗外という作家を知っていますか。

1. 知らない 2. 知っている

Q 2. あなたは、森鷗外作品を読んだことがありますか。

1. 読んだことがない 2. 読んだことがある

作品名 ()

Q 3. あなたは、夏目漱石という作家を知っていますか。

1. 知らない 2. 知っている

Q 4. あなたは、夏目漱石作品を読んだことがありますか。

1. 読んだことがない 2. 読んだことがある

作品名 ()

Q 5. あなたは、「舞姫」という作品の名前を聞いたことがありますか。

1. ない 2. ある

Q 6. あなたは、「舞姫」を読んだことがありますか。

1. ない 2. ある 3. 途中で読んでやめた

Q 7. Q 6で2、3に○をつけた人に質問します。その「舞姫」は何で読みましたか。

1. 文庫本 2. 単行本 3. 教科書 4. その他 ()

その時の感想は、

5. おもしろかった 6. むずかしくて、わからなかった

7. 何とも思わなかった 8. その他 ()

Q 8. 中学の時、国語の教科書に「最後の一句」という作品が入っていましたか。

1. 入っていなかった 2. 入っていた 3. 覚えていない

資料 3

「舞姫」学習後のアンケート

この作品を学習して、最も印象に残った場面（段落）はどれですか。また、最も興味をもった資料はどれですか。

ア. 石炭をばはや……………(1)

帰国途中、セイゴンの港

イ. 余は幼きころより……………(2)の1

幼い頃の説明（厳しい家庭教育）

母を残してベルリンへやってきた

ウ. 余は横綱たる……………(2)の2

ベルリンの壮麗な光景

大学へ講義を受けに通う

エ. かくて三年ばかり……………(2)の3

自我の目ざめと人の諷言

オ. ある日の夕暮れなりしが……………(3)の1

エリスとの出会い

カ. ああ、なんらの悪因ぞ……………(3)の2

エリスとの交際と、諷言による免官

キ. 公使に約せし日も近づき……………(3)の3

相沢の援助とエリスとの新しい生活

ク. 明治二十一年の冬は来にけり……………(4)の1

エリスの妊娠 天方伯との出会い

ケ. ひと月ばかり過ぎて……………(4)の2

ベテルブルクの宮廷

ベルリンへ帰り、エリスとの再会

コ. 二、三日の間は大臣をも……………(4)の3

天方伯より帰国を誘われる

雪のベルリンの街をさまよひ歩く

サ. 人事を知るほどになりしは……………(4)の4

エリスの発狂と、帰国の途

シ. ああ相沢謹吉がとき……………(5)

相沢への思い

A 「舞姫」抄 テープ

B サイゴンの風景写真

C 地中海沿岸の風景写真

D 藩校・東京大学の写真

E ヨーロッパの古い都市

の写真

F ブランデンブルク門の

写真と絵葉書

G 合歓の木

H 古いベルリン市街の

地図

I ユダヤ老人の写真

J 裏通りの街並の写真

K ドイツのお金

L フロックコートの図

M レニングラードの写真

と絵葉書

N ヨーロッパ宮殿の内部

写真

O 当時の国、都市の位置

関係を示す地図

資料 4

森鷗外に関するアンケート 結果

Q 1	1	1	6	2	3	0	9	4	6	0	5	4
	2	41	40	40	40	45	39	39	39	45	37	42
Q 2	1	34	40	35	35	41	42	41	10	37	40	42
	2	8	6	7	8	4	6	2	35	8	2	4
Q 3	1	1	3	0	18	0	4	1	2	0	3	1
	2	41	43	42	25	45	44	42	43	45	39	45
Q 4	1	14	16	19	22	6	6	11	8	5	9	14
	2	28	30	23	21	39	42	32	37	40	33	32
Q 5	1	3	7	21	21	3	8	8	11	6	12	8
	2	39	39	21	22	42	40	35	34	39	30	38
Q 6	1	41	44	38	40	42	41	42	44	45	42	42
	2	0	1	3	3	1	4	1	0	0	0	3
	3	1	1	1	0	2	3	0	1	0	0	1
Q 7	1	1	0	2	1	0	1	1	1	0	0	1
	2	0	0	2	1	2	2	0	0	0	0	1
	3	0	2	0	1	1	4	0	0	0	0	2
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0
	6	0	0	1	1	2	2	1	1	0	0	1
	7	1	0	2	1	0	4	0	0	0	0	1
	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Q 8	1	14	18	11	12	7	11	11	3	14	7	10
	2	1	2	1	1	2	1	1	35	2	4	4
	3	27	26	31	30	36	36	31	7	29	31	32
S 58 S 59 S 60 S 61 S 62 H 1 S 60 S 61 S 62 H 1 H 1												
※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※												
H 高校						S 高校				T 高校		

資料 5

「舞姫」学習後のアンケート 結果

ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	2	3	3
	3	9	2	5	7	12
	8	5	7	0	2	2
	19	16	23	13	8	7
	11	1	6	1	5	2
	0	0	0	0	0	0
	0	3	1	11	9	8
	1	0	2	9	4	6
	4	8	2	2	6	6
	0	0	0	0	1	0
	0	0	0	0	0	0
S 59 S 60 S 61 S 60 S 61 H 1						
※ ※						
H 高校			S 高校		T 高校	
A B C D E F G H I J K L M N O	0	0	0	0	0	0
	1	0	0	0	0	0
	4	6	5	6	8	
	0	0	0	0	0	
	18	12	1	3	1	
	7	6	0	0	6	
	1	3	0	0	1	
	0	0	0	0	0	
	2	4	1	2	2	
	2	1	0	0	0	
	2	3	28	32	26	
	1	1	6	2	0	
	1	5	0	0	0	
	3	2	2	0	2	
	0	0	0	0	0	
S 60 S 61 S 60 S 61 H 1						
※ ※						
H 高校			S 高校		T 高校	

※ 大道正兄の協力による

※ 神谷重章兄の協力による